

令和2年2月12日
教 育 委 員 会

君津市学校再編第2次実施プログラムを決定しました

昨年11月に第2次実施プログラム案を公表し、地区説明会、パブリックコメント、保護者や地域の団体を対象とした小規模の説明会を実施してまいりました。

いただいた意見などを踏まえ、学校再編の理念に照らして総合的に判断し、2月7日の教育委員会会議において、「第2次実施プログラム」を決定いたしました。

記

1 君津市における学校再編

本市では、少子化が急速に進む中、学校再編基本計画（推進期間 10 年 H28～R7）に掲げる再編メニューにより、統合や特色ある学校づくりなど市内すべての学校が、子どもたちにとって、より魅力的で活力ある学校になるよう取組を進めています。

2 第2次実施プログラムの特徴

（1）君津地区における学校再編の推進

大和田小・坂田小の統合を軸に、隣接する周西中や県立君津高校、また、周辺の恵まれた教育資源を最大限に活かした、小中一貫教育やキャリア教育の推進など、子どもたちの将来を見据えた、複合的な再編『学園の丘 文教エリア構想』を推進。

統合：大和田小＋坂田小（R4） キャリア教育（R3） 小中一貫教育（R6）

（2）コミュニティ・スクールの導入（R4）

今年4月に開校する上総小櫃中学校区に、学校と地域が共に発展し合う教育システムとして、コミュニティ・スクールを導入。

3 修正等について

これまでにいただいた意見等を踏まえ、通学時間を考慮した通学手段の検討など、原案に一部修正を加えました。また、プログラム決定後も、保護者や地域関係者との対話を継続していくことを明示した『付帯事項』を追加しました。

4 今後の取組

- (1) 統合対象校については、円滑な統合に向け、統合準備室を設置し、児童の事前交流や、通学路の安全対策、校名や校歌等の決定など、学校、保護者、地域、行政が連携して新しい学校づくりに取り組んでまいります。
- (2) 2次・3次を一体とした君津地区の適正規模・適正配置
君津地区には、他にも適正規模に満たない小学校が複数あります。
このため、今回の2次プログラムと既存の学区の見直しを含む3次のプログラムと一体的に進めてまいります。君津地区を対象とした「第3次実施プログラム（案）」については、令和2年度を目途に公表する予定です。
- (3) 第2次実施プログラム（案）に対する意見結果については2月13日（木）から公表します。なお、学校再編に関する情報については、市ホームページで公開しております。（<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/40/>）



参考：『学園の丘 文教エリア構想』のイメージ



【本件に関する問い合わせ先】

君津市教育部学校再編推進課 担当：草薙・金田
電話：0439-56-1562 FAX：0439-56-1627
メール：gakkou-saihen@city.kimitsu.lg.jp

君津市学校再編第2次実施プログラム 概要版

1 統合について

地区	対象校	R2	R3	R4	R5	R6
君津地区	大和田小	準備室設置	交流	統合		
	坂田小					
〈使用校舎〉	大和田小校舎	大和田小	統合校 改修工事 (工事終了後に移動)			
	坂田小校舎	坂田小				統合校

※統合に伴う工事の間、安全面を踏まえ大和田小学校を使用校舎とします。

2 特色ある学校づくりについて

教育内容	対象校	R2	R3	R4	R5	R6
小中一貫教育	周西中 統合小 (大和田小・坂田小)			準備室設置		設置
コミュニティ・スクール	上総小・櫃中 小・櫃小 上総小		運営協議会準備	運営協議会設置		
キャリア教育	周西中 大和田小 坂田小	準備期間	拠点校指定			

- インクルーシブ教育システム・国際教育・スポーツ教育については、学校との協議を図り、第3次実施プログラム以降で推進します。

3 適正規模・適正配置を目指して

適正規模を満たしていない学校	八重原小、北子安小、外箕輪小
上記のうち 分離開校してできた学校	北子安小（南子安小から） 外箕輪小（八重原小から）

地区	対象校	R2	R3	R4	R5	R6	R7
君津地区	八重原小 北子安小 外箕輪小	第3次実施プログラムの対象					

- 八重原小学校・北子安小学校・外箕輪小学校については、適正規模を満たしていない状況です。この3小学校については、学校の立地上、統合だけでなく、隣接小学校区も含めた学区の抜本的な見直しが必要となります。
- 児童生徒数の推計、学校施設の状況や立地、通学路の状況、宅地開発の状況等を分析、検証していきます。また、学区の状況を熟知している学校関係者などとの協議を加速させ、令和2年度を目途に『第3次実施プログラム（案）』を公表する予定です。

※中学校は、第1次実施プログラムにより市内全校が適正規模になります。

《付帯事項》

- 統合を円滑に進めるための組織として、学校・保護者・地域関係者による統合準備室を設置して、新しい学校づくりを推進します。
- プログラム決定後も、保護者や地域関係者と情報を共有しながら、子どもたちにとってよりよい教育環境づくりに努めます。



光り輝く 未来のために

～よりよい教育環境を目指して～

君津市学校再編

第2次実施プログラム

令和 2 年 2 月
君津市教育委員会



目 次

学校再編について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
--------------------------	---

第2次実施プログラムについて・・・・・・・・	2
------------------------	---

I 統合について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
--------------------------	---

君津地区	・・・・・・・・ 3
------	------------

II 特色ある学校づくりについて・・・・・・・・	4
--------------------------	---

1 小中一貫教育	・・・・・・・・ 4
----------	------------

2 コミュニティ・スクール	・・・・・・・・ 5
---------------	------------

3 キャリア教育	・・・・・・・・ 6
----------	------------

III 適正規模・適正配置を目指して・・・・・・・・	7
----------------------------	---

付帯事項・・・・・・・・・・・・・・・・	8
----------------------	---

<関連データ>	・・・・・・・・ 9
---------	------------

学校再編について

君津市教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少や学校の小規模化が進行する中、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を進めるため、平成26年1月から、学校再編に取り組んできました。

この間、地区説明会や保護者を対象とした「小・中学校の適正規模等に関するアンケート」、「学区の見直しに関するアンケート」、中学校合同生徒会、パブリックコメントなど様々な機会を通して保護者や児童生徒、地域、学校関係者などから貴重な意見をいただけてきました。

このように、幅広く市民の方々や関係各方面からの意見等を踏まえながら検討を重ね、平成28年度から令和7年度までの10年間を目標年次とした『学校再編基本計画』を平成28年3月に策定しました。

この基本計画の実施に当たっては、具体的な学校名や実施時期等を示した『実施プログラム』に基づき、推進することとしています。現在、平成29年1月に策定した『第1次実施プログラム』に基づき、学校、保護者、地域代表者で組織された統合準備室を中心に、小糸・清和地区、小櫃・上総地区小中学校の統合に向けた準備を円滑に進めています。

今回の『第2次実施プログラム』は、『第1次実施プログラム』と同様、これまで市民の皆様からいただいた意見や児童生徒数の推計、学校施設の状況や立地、通学における安全面、各学校の課題、地域の実情等を踏まえ、検討を重ね作成しました。

プログラムは、「統合について」、「特色ある学校づくりについて」、「適正規模・適正配置を目指して」の3つの柱で構成され、令和2年度からの周西中学校区と上総小櫃中学校区におけるよりよい教育環境の整備を内容としています。

具体的には、周西中学校区では、大和田小学校・坂田小学校・周西中学校・県立君津高等学校が隣接している立地条件や、世界に誇る鉄鋼企業の所在など、豊富な教育資源を最大限に活かした教育活動を推進していきます。また、上総小櫃中学校区では、活力ある魅力的な学校づくりとともに、広がった地域の中で住民同士が交流を深め、新たな地域文化の創造など、学校と地域が共に発展し合う教育システムを導入します。

君津地区においては、大和田小学校、坂田小学校のほかにも、適正規模を満たしていない小学校が複数あり、喫緊の課題として捉えています。今後の学校再編については、今回の『第2次実施プログラム』と、統合だけでなく学区の抜本的な見直しなども含む『第3次実施プログラム』により、一体的に進めていきます。

なお、『第3次実施プログラム（案）』は、これまでいただいた市民の方々からの意見などを踏まえ、学区の状況を熟知している学校関係者などと協議、検証をさらに加速させ、令和2年度を目途に公表する予定です。

第2次実施プログラムについて

プログラムの趣旨

①10年間の基本計画推進期間内（H28～R7）

□小学校 ⇒ 適正規模・適正配置

□小学校・中学校 ⇒ 特色ある学校づくりの拡大、フィードバック

②2次・3次を一体とした君津地区の適正規模・適正配置

- ・統合に伴い通学区域に大きな見直しのない第2次実施プログラムと、統合と通学区域の抜本的な見直しが必要な第3次実施プログラムを一体としてとらえて、君津地区の学校再編を進める。
- ・住宅開発状況等を踏まえながら検証する。

《決定までの経緯》

これまで、有識者会議、保護者アンケート、6回にわたる地区説明会やパブリックコメント、保護者や自治会を対象とした小規模の意見交換、議会での論議など、様々な方法で、多くの方々から貴重な意見や要望をいただけてきました。

大和田小学校・坂田小学校の統合については、概ね賛意を得られました。この統合を軸に、立地条件を最大限に活かした教育活動の展開に期待する意見、特色ある学校づくりを市内小中学校に広めてほしいという意見などがありました。一方、統合に伴う通学区域の拡大、通学路の変更があることから、児童の安全面や健康面を心配する意見、広い敷地で学校生活を送らせたいという意見などがありました。また、統合小学校と周西中学校の施設等の共用、児童数の増加に伴う施設の整備などの要望もありました。

それら全ての意見や要望を受けて、使用校舎、通学方法、通学路の安全確保、施設等の共用などについて検証を行ってきました。

決定にあたっては、学校再編の理念に照らし、これまでいただけてきた全ての意見、児童数の推計、学校の状態や立地、学校運営の面、教育活動の面、通学路の状況、通学距離を踏まえた通学手段、児童数の増加による施設整備などを総合的に判断しました。

I 統合について

君津地区

対象校	実施年度	使用校舎
大和田小学校 坂田小学校	令和4年度	坂田小学校（令和6年9月頃～） 大和田小学校（～令和6年8月頃）

※統合に伴う坂田小学校校舎改修工事の間、安全面を踏まえ大和田小学校を使用校舎とします。

《経緯》

大和田小学校は、鉄鋼企業の大和田社宅の建設による人口増加とともに、昭和43年4月に周西小学校から分離開校しました。その3年後には、坂田地区・大和田社宅A・B・E棟を学区とした坂田小学校が大和田小学校から分離開校しています。ピーク時には、約1900名もの児童が、大和田小学校と坂田小学校に通学し、勉学に励んでおり、君津市の発展と期を同じくするように、それぞれの文化や伝統を発展させてきました。

開校から50年程度経過し、少子化が進む中、坂田小学校は単学級が存在し、今後も児童数に大きな増加は見込まれず、適正規模に満たない見通しとなっています。大和田小学校は、鉄鋼企業の大和田社宅が再整備されているものの、他区域において児童数が減少している状況です。また、両校は学校間の距離が近く、それぞれが学区の中央に位置しています。これまで保護者や地域関係者等から寄せられた様々な意見や要望を参考に、教育活動の充実や地域振興などの観点も踏まえた上で総合的に判断し、大和田小学校と坂田小学校を統合することとしました。

《再編の内容》

- 統合にあたっては、これまで各学校・地域で培ってきた文化や伝統、特色ある取組の継承などにも配慮します。
- 立地条件等を最大限に活用し、小学校・中学校・高等学校で連携を図り、様々な学習を取り入れるなどして、地域を愛する児童生徒の育成や、地域とともに育む学校づくりの視点にも配慮します。
- 通学区域の拡大、通学路の変更があることから、学校・保護者・地域・警察等関係機関との連携を強化し、児童の安全確保に努めます。また、通学手段についても検討します。

【統合後の「学区の弾力化」運用について】

令和2年度から運用する「学区の弾力化」の対象区域とした坂田小学校区である大和田社宅A棟B棟については、統合に伴い対象区域ではなくなります。

なお、東坂田1丁目～4丁目については、統合後も対象区域として維持し、周西小学校への通学も可能です。

Ⅱ 特色ある学校づくりについて

1 小中一貫教育

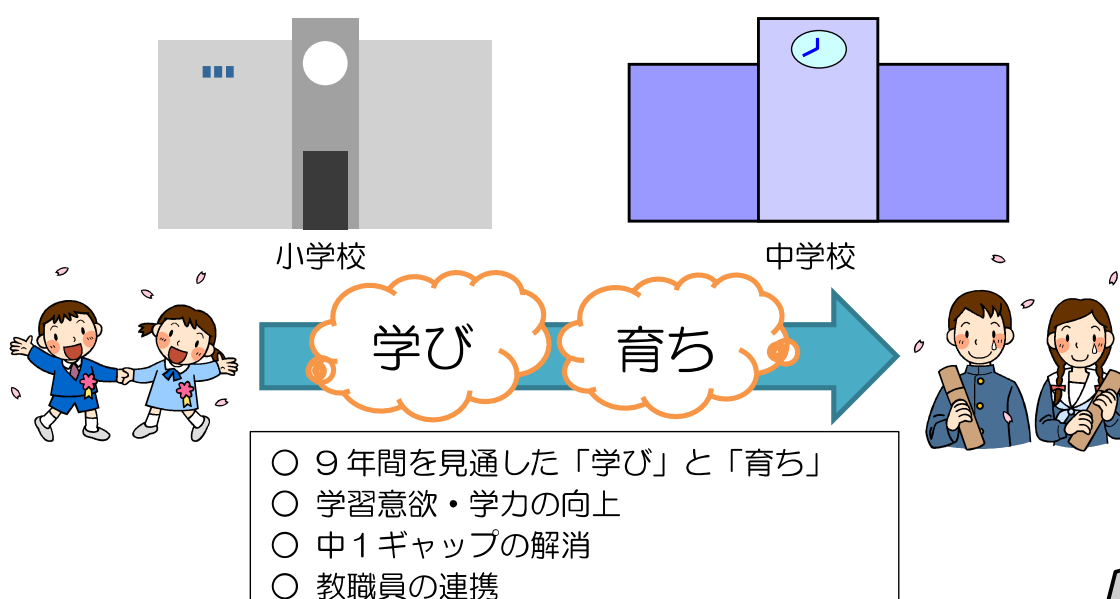
対象校	実施年度	取組の概要
周西中学校 統合小学校 (大和田小・坂田小)	令和6年度	周西中学校と統合小学校（大和田小・坂田小）を小中一貫教育校として設置します。

《具体的な取組内容》

- 本市の小中一貫教育の方向性を示す君津市版小中一貫カリキュラムをもとに、教科指導の連続性や小学校から中学校への円滑な接続を図るため、9年間を見通した具体的な取組を実施します。
- 小・中学校が共通の「小中一貫教育目標」や「目指す児童生徒像」を設定します。
- 中学校教員が小学校で授業を行ったり、小学校教員が中学校でチームティーチングを行ったりして、相互の授業に関わり、きめ細かな指導を行います。
- 小学1年生から中学3年生までの幅広い異学年での交流により、社会性・協調性を育てます。
- 小学校と中学校の施設等を共用し、充実した教育活動を展開します。

施設隣接型小中一貫教育（イメージ図）

小・中学校の円滑な接続



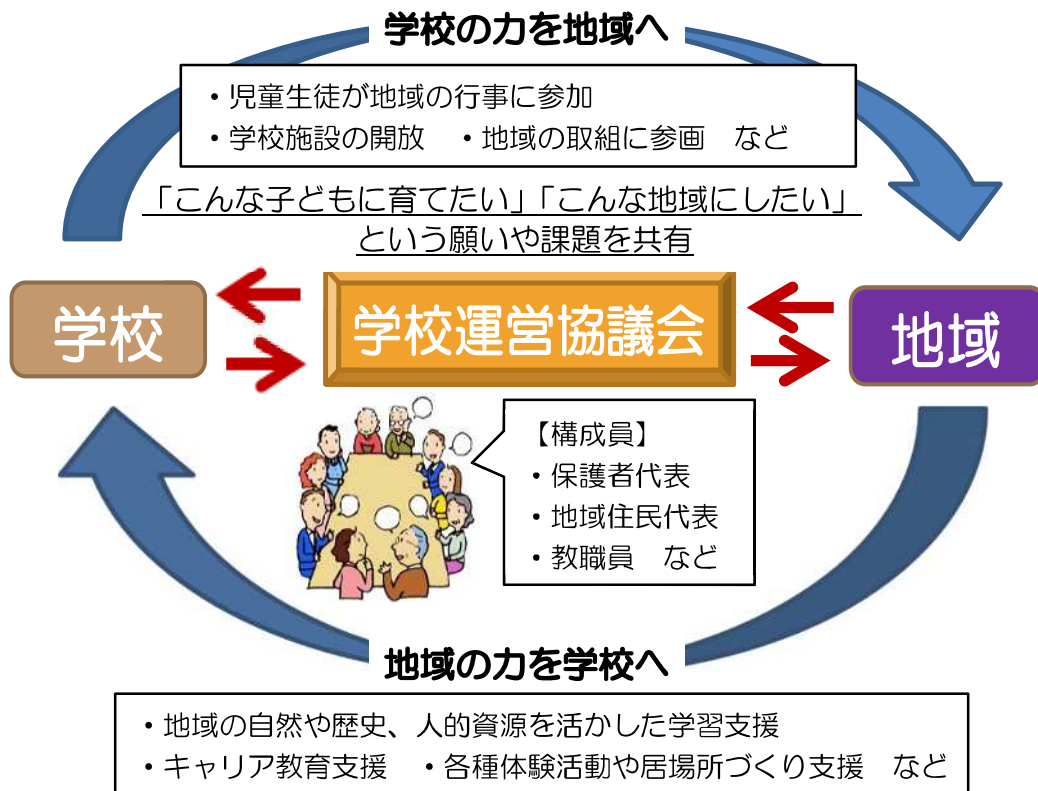
2 コミュニティ・スクール

対象校	実施年度	取組の概要
上総小櫃中学校 小櫃小学校 上総小学校	令和4年度	上総小櫃中学校、小櫃小学校、上総小学校をそれぞれコミュニティ・スクールとします。

《具体的な取組内容》

- ・上総小櫃中学校、小櫃小学校、上総小学校の3校を「コミュニティ・スクール」とします。保護者や地域住民、教職員等で構成される「学校運営協議会」を設置し『地域とともにある学校』を目指します。
- ・学校、地域、家庭が協力し合い、子どもたちをどのように育んでいくか、学校運営協議会での意見交換を通し、共通理解を深めます。
- ・人材やネットワーク等、地域の力を活かした教育活動を展開するとともに、学校や子どもたちの力を地域に活かし地域と学校がともに発展し合う仕組みをつくります。
- ・地域コミュニティの拠点としての学校の役割を活かし、様々な活動を通じて、住民同士の交流を進めます。

コミュニティ・スクール（イメージ図）



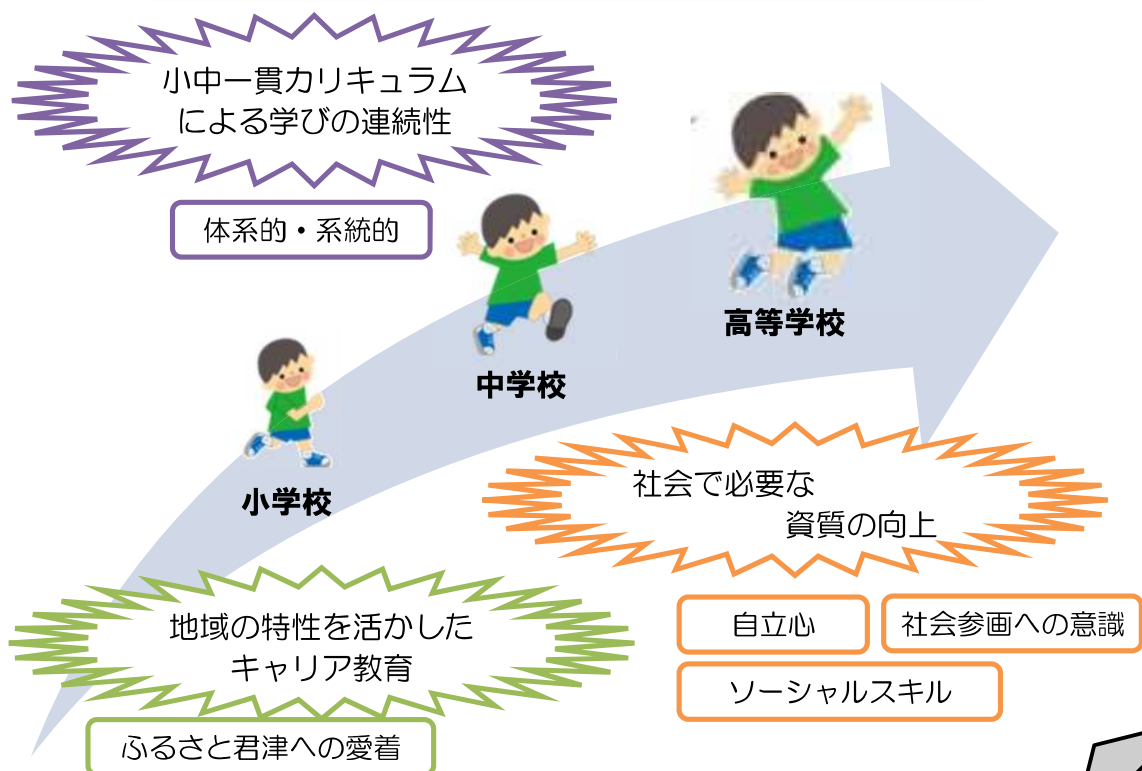
3 キャリア教育

対象校	実施年度	取り組みの概要
周西中学校 大和田小学校 坂田小学校	令和3年度	周西中学校、大和田小学校、坂田小学校をキャリア教育拠点校として指定します。 大和田小学校・坂田小学校は統合後も継続して拠点校とします。

《具体的な取組内容》

- ・一貫性のある連続した取組で社会的自立を支援します。
- ・職場体験学習などで、社会との関わりを持たせる中で、自立と社会参加の意識を育てます。
- ・全ての教育活動において、ソーシャルスキルや高い倫理観を身に付けさせるなど、キャリア教育の視点に立った取組の充実を図ります。
- ・人見こども園と連携したキャリア教育を展開します。
- ・日本製鉄等と連携したキャリア教育など、地域の教育力を活かした教育を実践します。
- ・立地条件を最大限に活かし、小中高が連携したキャリア教育を実践します。

キャリア教育（イメージ図）



Ⅲ 適正規模・適正配置を目指して ～第3次実施プログラムに向けて～

第2次実施プログラムでは、学校規模の適正化を図るための統合と特色ある学校づくりをセットで考え、学校間の距離が短く、それぞれが学区の中央に位置している周西中学校区を対象としました。これまで保護者や地域関係者などからの意見も参考に、教育活動の充実や地域振興などを考慮し、総合的に判断しました。

今後も、全ての学校が適正規模の基準を満たすよう学校の適正規模・適正配置を推進します。また、現状だけではなく、先を見通した検討を行い、児童生徒にとって、統合等による負担ができるだけかからないように配慮しながら、基本計画に基づき、実施プログラムを順次作成していきます。

そしてその都度、地区説明会やパブリックコメント等を実施し、幅広く意見をいただきながら学校再編について取り組んでいきます。

《今後の方向性》

適正規模を満たしていない学校	八重原小学校 北子安小学校 外箕輪小学校
上記のうち 分離開校してできた学校	北子安小学校（南子安小学校から） 外箕輪小学校（八重原小学校から）

八重原小学校・北子安小学校・外箕輪小学校については、適正規模を満たしていない状況です。この3小学校については、学校の立地上、統合だけでなく、隣接小学校区も含めた学区の抜本的な見直しが必要となります。

これには、以下のことを踏まえた分析、検証が必要となります。

- ・児童生徒数の推計
- ・学校施設の状態や立地（校舎の老朽化、北子安小学校用地の借地等）
- ・通学路の状況（安全面、道路の延伸等）
- ・宅地開発の状況 など

これまで実施した保護者アンケートや地区説明会、パブリックコメント等でいただいた意見などを踏まえ、通学区域審議会、学区の状況を熟知している学校関係者などと協議、検証をさらに加速させ、令和2年度を目途に『第3次実施プログラム（案）』として公表する予定です。

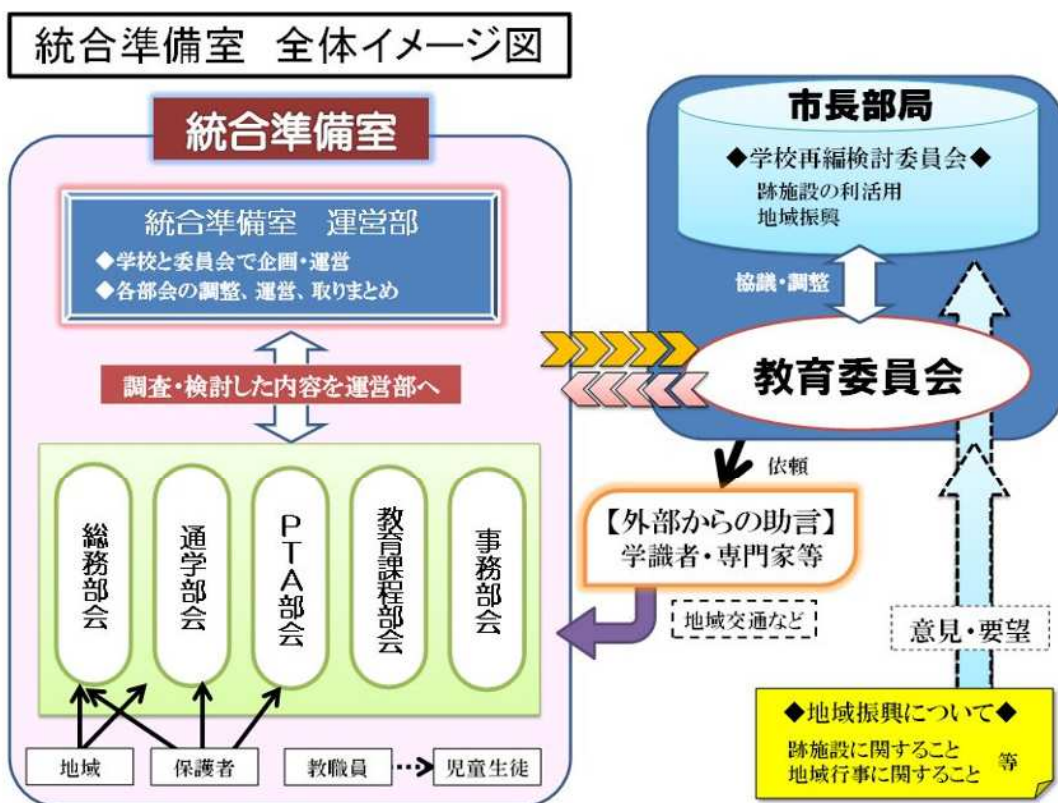
付帯事項

《統合について》

統合を円滑に進めるための組織として、学校・保護者・地域関係者による統合準備室※¹を設置して、新しい学校づくりを推進します。

また、プログラム決定後も、保護者や地域関係者と情報を共有しながら、子どもたちにとってよりよい教育環境づくりに努めます。

※¹ 統合に伴う様々な事項を協議し、実務的に進めるための組織



○組織構成については、今後検討となります。

【関連データ】

令和元年5月1日現在（特別支援除く）

君津地区の児童生徒推計															
学校	学年	R元		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
大和田小	1年	44	2	43	2	46	2	55	2	52	2	70	2	57	2
	2年	36	1	44	2	43	2	46	2	55	2	52	2	70	2
	3年	40	1	36	1	44	2	43	2	46	2	55	2	52	2
	4年	47	2	40	1	36	1	44	2	43	2	46	2	55	2
	5年	42	2	47	2	40	1	36	1	44	2	43	2	46	2
	6年	55	2	42	2	47	2	40	1	36	1	44	2	43	2
	合計	264	10	252	10	255	10	263	10	275	11	309	12	322	12
坂田小	1年	42	2	36	2	41	2	50	2	29	1	37	2	44	2
	2年	38	1	42	2	36	1	41	2	50	2	29	1	37	1
	3年	39	1	38	1	42	2	36	1	41	2	50	2	29	1
	4年	25	1	39	1	38	1	42	2	36	1	41	2	50	2
	5年	38	1	25	1	39	1	38	1	42	2	36	1	41	2
	6年	37	1	38	1	25	1	39	1	38	1	42	2	36	1
	合計	219	7	218	8	221	8	246	9	235	9	234	10	236	9
周西中	1年	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2	64	2	75	2
	2年	81	3	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2	64	2
	3年	97	3	81	3	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2
	合計	244	8	227	8	216	7	212	7	201	6	196	6	208	6

※この児童生徒数推計は、これまでの入学率等を加味したものになります。また、学級数については、国の基準（小学校1年生：35人学級、2～6年生：40人学級、中学校1～3年生：40人学級）となります。

【関連データ】

令和元年5月1日現在（特別支援除く）

君津地区の児童推計															
学校	学年	R元		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
八重原小	1年	34	1	43	2	43	2	37	2	35	1	30	1	33	1
	2年	43	2	34	1	43	2	43	2	37	1	35	1	30	1
	3年	49	2	43	2	34	1	43	2	43	2	37	1	35	1
	4年	30	1	49	2	43	2	34	1	43	2	43	2	37	1
	5年	48	2	30	1	49	2	43	2	34	1	43	2	43	2
	6年	34	1	48	2	30	1	49	2	43	2	34	1	43	2
	合計	238	9	247	10	241	10	248	11	234	9	221	8	220	8
南子安小	1年	73	3	58	2	55	2	67	2	57	2	64	2	65	2
	2年	79	2	73	2	58	2	55	2	67	2	57	2	64	2
	3年	88	3	79	2	73	2	58	2	55	2	67	2	57	2
	4年	77	2	88	3	79	2	73	2	58	2	55	2	67	2
	5年	113	3	77	2	88	3	79	2	73	2	58	2	55	2
	6年	89	3	113	3	77	2	88	3	79	2	73	2	58	2
	合計	519	16	488	14	430	13	421	13	389	12	374	12	366	12
周西小	1年	74	3	81	3	72	3	62	2	57	2	51	2	53	2
	2年	81	3	74	2	81	3	72	2	62	2	57	2	51	2
	3年	82	3	81	3	74	2	81	3	72	2	62	2	57	2
	4年	80	2	82	3	81	3	74	2	81	3	72	2	62	2
	5年	97	3	80	2	82	3	81	3	74	2	81	3	72	2
	6年	96	3	97	3	80	2	82	3	81	3	74	2	81	3
	合計	510	17	495	16	470	16	452	15	426	14	396	13	375	13
貞元小	1年	69	2	67	2	77	3	77	3	65	2	63	2	57	2
	2年	55	2	69	2	67	2	77	2	77	2	65	2	63	2
	3年	50	2	55	2	69	2	67	2	77	2	77	2	65	2
	4年	51	2	50	2	55	2	69	2	67	2	77	2	77	2
	5年	46	2	51	2	50	2	55	2	69	2	67	2	77	2
	6年	46	2	46	2	51	2	50	2	55	2	69	2	67	2
	合計	317	12	338	12	369	13	395	13	410	12	418	12	406	12
周南小	1年	68	2	58	2	63	2	57	2	39	2	47	2	37	2
	2年	74	2	68	2	58	2	63	2	57	2	39	1	47	2
	3年	61	2	74	2	68	2	58	2	63	2	57	2	39	1
	4年	64	2	61	2	74	2	68	2	58	2	63	2	57	2
	5年	78	2	64	2	61	2	74	2	68	2	58	2	63	2
	6年	73	2	78	2	64	2	61	2	74	2	68	2	58	2
	合計	418	12	403	12	387	12	380	12	358	12	332	11	301	11

※この児童生徒数推計は、これまでの入学率等を加味したものになります。また、学級数については、国の基準（小学校1年生：35人学級、2～6年生：40人学級、中学校1～3年生：40人学級）となります。

【関連データ】

令和元年5月1日現在（特別支援除く）

君津地区の児童生徒推計															
学校	学年	R元		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
北子安小	1年	34	1	27	1	28	1	22	1	25	1	22	1	24	1
	2年	28	1	34	1	27	1	28	1	22	1	25	1	22	1
	3年	39	1	28	1	34	1	27	1	28	1	22	1	25	1
	4年	36	1	39	1	28	1	34	1	27	1	28	1	22	1
	5年	34	1	36	1	39	1	28	1	34	1	27	1	28	1
	6年	37	1	34	1	36	1	39	1	28	1	34	1	27	1
	合計	208	6	198	6	192	6	178	6	165	6	159	6	149	6
外箕輪小	1年	20	1	17	1	26	1	16	1	17	1	17	1	20	1
	2年	24	1	20	1	17	1	26	1	16	1	17	1	17	1
	3年	13	1	24	1	20	1	17	1	26	1	16	1	17	1
	4年	35	1	13	1	24	1	20	1	17	1	26	1	16	1
	5年	30	1	35	1	13	1	24	1	20	1	17	1	26	1
	6年	28	1	30	1	35	1	13	1	24	1	20	1	17	1
	合計	150	6	139	6	135	6	116	6	120	6	113	6	113	6
君津中	1年	160	4	162	5	181	5	154	4	166	5	152	4	165	5
	2年	169	5	160	4	162	5	181	5	154	4	166	5	152	4
	3年	188	5	169	5	160	4	162	5	181	5	154	4	166	5
	合計	517	14	491	14	503	14	497	14	502	14	473	13	484	14
周西中	1年	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2	64	2	75	2
	2年	81	3	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2	64	2
	3年	97	3	81	3	66	2	80	3	70	2	63	2	69	2
	合計	244	8	227	8	216	7	212	7	201	6	196	6	208	6
周南中	1年	72	2	69	2	73	2	60	2	57	2	70	2	64	2
	2年	70	2	72	2	69	2	73	2	60	2	57	2	70	2
	3年	82	3	70	2	72	2	69	2	73	2	60	2	57	2
	合計	224	7	211	6	214	6	202	6	191	6	187	6	191	6
周西南中	1年	92	3	88	3	89	3	74	2	75	2	75	2	68	2
	2年	87	3	92	3	88	3	89	3	74	2	75	2	75	2
	3年	101	3	87	3	92	3	88	3	89	3	74	2	75	2
	合計	280	9	267	9	270	9	251	8	238	7	224	6	218	6
八重原中	1年	65	2	59	2	74	2	62	2	59	2	64	2	51	2
	2年	66	2	65	2	59	2	74	2	62	2	59	2	64	2
	3年	71	2	66	2	65	2	59	2	74	2	62	2	59	2
	合計	202	6	190	6	198	6	195	6	195	6	184	6	174	6

※この児童生徒数推計は、これまでの入学率等を加味したのになります。また、学級数については、国の基準（小学校1年生：35人学級、2～6年生：40人学級、中学校1～3年生：40人学級）となります。

